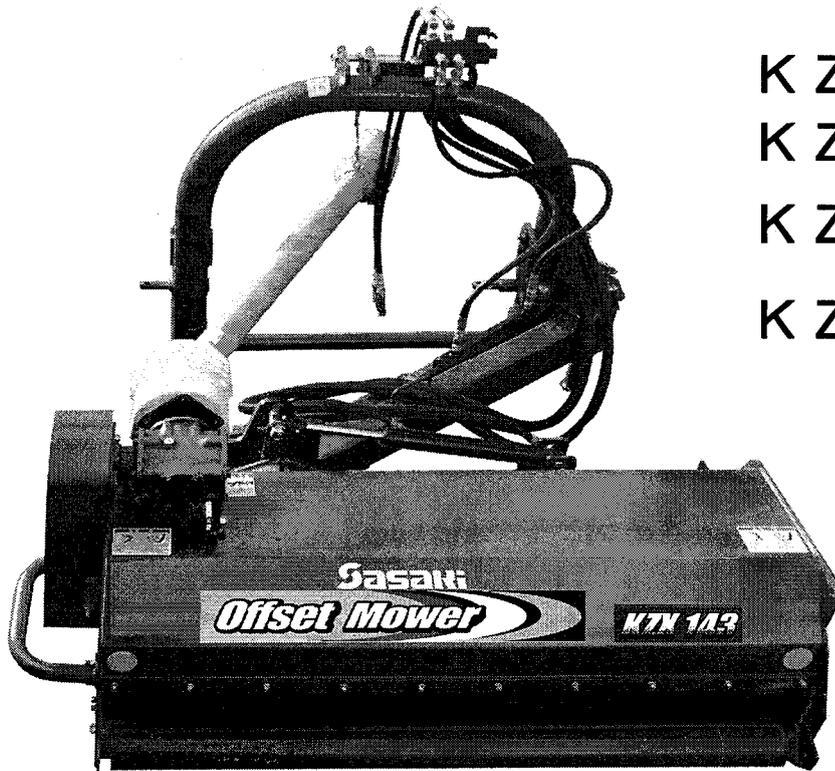


ササキ

人に、環境にやさしい



取扱説明書 オフセットモア



K Z 1 4 3 G

K Z 1 4 3 Y

K Z 1 6 3 G

K Z 1 6 3 Y



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。

ご使用前に必ずお読みください。

お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

安全作業で家族も笑顔

目次

はじめに	1
安全に作業するために	2
安全銘板の貼り付け位置	8
保証とサービスについて	
◎保証書について，アフターサービスについて，補修用部品の供給について	9
各部の名称	10
装着前の準備	11
スタンドの取付方法	13
トラクタへの装着順序	
Ⅰ．装着方法	14
Ⅱ．取り外し方	16
ユニバーサルジョイントの切断方法	18
刈り高さの調整方法	19
作業前の点検	19
運転及び刈り取り作業について	
移動と圃場への出入りの仕方	20
作業の仕方	21
作業上の注意	24
保守管理について	
◎Vベルトの張り調整・ナイフの組立について	25
◎スグレーバ（スクレーパー）の調整	26
◎作業シーズン中	26
◎作業シーズン終了後	26
◎オイル交換及びグリース注油について	26
◎廃油処理について	28
トラブルの原因と処置方法	29
主要諸元	30

ササキ商品をお買い上げいただき

誠にありがとうございます。

はじめに

- ◎ この取扱説明書は、オフセットモアの取扱方法と、使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には、必ずこの取扱説明書を熟読するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でお使いください。
- ◎ オフセットモアは雑草を刈り取る機械です。その他の目的で使用しないでください。
- ◎ お読みになったら後は必ず製品に近接して保管してください。
- ◎ 本製品を貸与又は譲渡された場合は、この取扱説明書を商品に添付してお渡してください。
- ◎ この取扱説明書を紛失又は損傷された場合は、速やかに当社又は当社の特約店・販売店にご注文ください。
- ◎ なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本商品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ◎ ご不明なことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお店、又はお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- ◎ **▲** 印付きの下記のマークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



危険

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。



警告

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを意味します。



注意

この警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを意味します。

重要

注意事項を守らないと、機械の損傷や故障の恐れのあるものをあらわします。

参考

その他、使用上役にたつ補足説明をあらわします。

- ◎ この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業するために」を記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

安全に作業をする為に

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、ご理解いただいたうえで安全な作業を行ってください。安全に作業するためにぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「**▲** 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

◎一般的な注意事項

▲ 警告 こんな時は作業しない

過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
酒を飲んだとき。
妊娠しているとき。
18歳未満の人。



▲ 警告 作業に適した服装をする

はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めのついた靴を着用し、作業に適した防護具などをつけ、だぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。

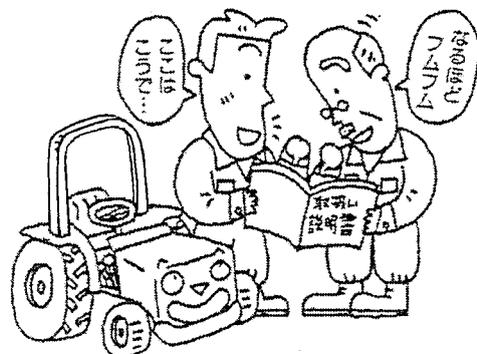


▲ 警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の損傷をまねくおそれがあります。

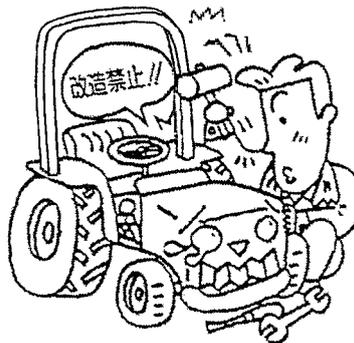


⚠ 注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けないでください。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。



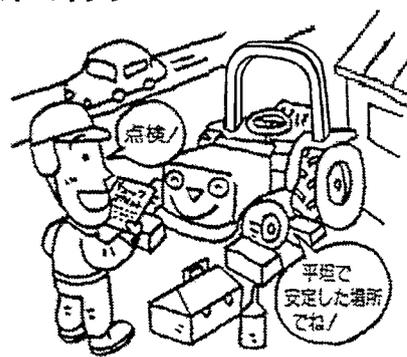
◎作業の前に

⚠ 警告 始業点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦な安定した場所で、トラクタの前輪には車止めをして点検整備してください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。

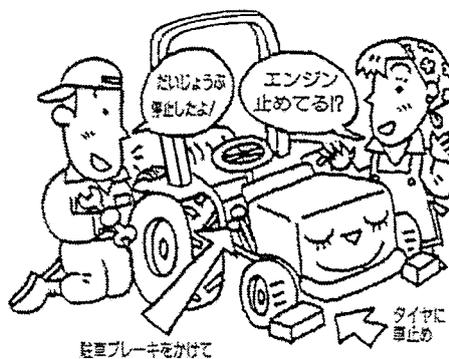


⚠ 警告 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。

【守らないと】

機械の下敷きになるなど、傷害事故をおこすおそれがあります。



⚠ 注意

◇作業の前には点検・整備を行ってください。

◇各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。

◇カバー類を外したら、必ず取り付けてください。

◎トラクタへの着脱

⚠ 危険 運転時はジョイントカバーを外さないでください

【守らないと】

ジョイントに巻き込まれて傷害事故を起こすおそれがあります。

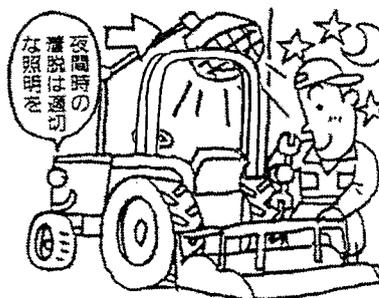


⚠ 警告 作業機の着脱は平坦な場所で行なう

作業機の着脱は平坦で安定した場所で行なってください。
夜間は、適切な照明をしてください。

【守らないと】

事故をおこすおそれがあります。



⚠ 警告 作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

【守らないと】

何らかの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。

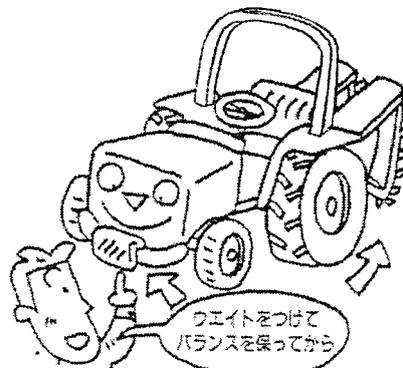


⚠ 警告 重い作業機をつけるときはウェイトでバランスを取る

重い作業機を装着したときは、フロントにバランスウェイトをつけてバランスを保ってください。

【守らないと】

バランスを崩して事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◇トラクタから離れるときはエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてPTO変速を中立にしてください。
- ◇2人以上で着脱を行なう場合は、互いに合図を確認しあって作業してください。
- ◇ユニバーサルジョイントの止めピンが確実に軸溝にはまっているか確認してください。
- ◇取り付け部のピンがすべて確実に装着されているか確認してください。

◎路上走行

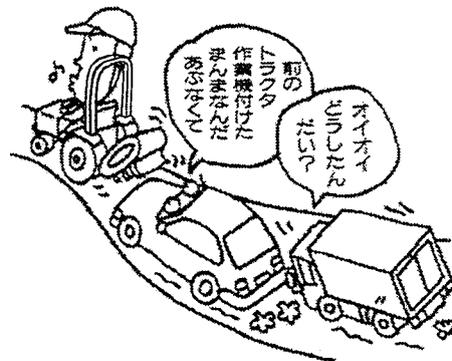
⚠ 注意 公道走行時は作業機の装着禁止

公道を走行するときは、作業機を取り外してください。

【守らないと】

道路運送車両法違反です。

事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◇トラクタ、作業機に運転者以外の人を乗せないでください。
- ◇作業機の回転を止めて走行してください。
- ◇トラクタの落下速度調整ハンドルを回して必ず油圧ロックをしてください。
- ◇旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。
- ◇作業機を装着した時機体寸法が大きくなるので、移動走行時は十分注意してください。
- ◇溝のある農道や両側が傾斜している農道では路肩に十分注意して移動してください。

◎圃場の出入り

⚠ 注意

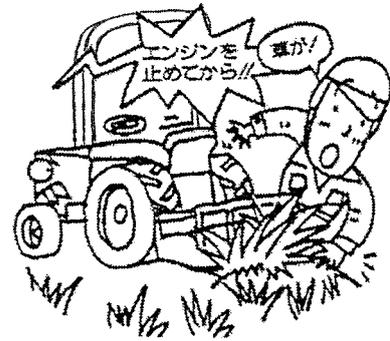
圃場に入るときは、必ず前進で速度を落とし、作業機を低くして重心を下げ、畦や段差に対して直角に進んでください。畦や段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。

◎作業をしているとき

▲ 警告 回転部（ツメ・刃、軸等）に巻き付いた草等を取るときはエンジン停止

【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。



▲ 警告 子供を近づけない

子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。

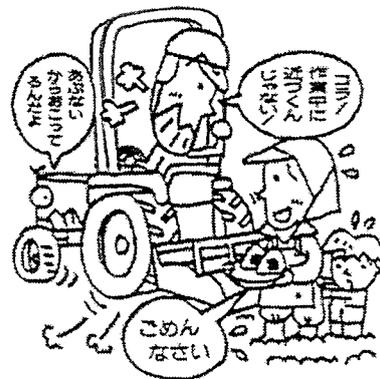


▲ 警告 トラクタと作業機の周辺に人を近づけない

トラクタを移動して作業機を着脱するときは、トラクタの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 警告 作業機指定のPTO回転を守る

低速回転用の作業機を高速回転で使用しないでください。
作業機指定のPTO回転速度を厳守してください。

【守らないと】

作業機が異常作動し、事故や機械の破損を引き起こします。



⚠ 注意

- ◇補助作業者がいる場合は、動作ごとに合図をかわしてください。
- ◇回転部分や動くところには触れないでください。

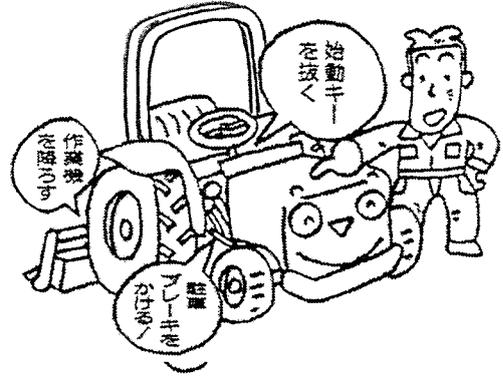
◎トラクタを止めるとき

⚠ 警告 機械から離れるときは作業機を地面に降ろしてエンジンをとめる

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け車止めをしてください。

【守らないと】

トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。



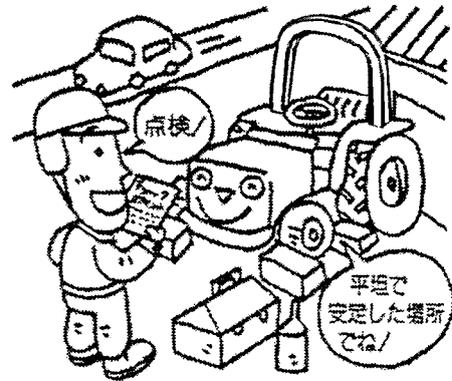
◎点検や格納のとき

⚠ 警告 点検整備は平坦で安定した場所で行なう

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け車止めをしてください。

【守らないと】

トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。



⚠ 注意

- ◇点検、整備時はトラクタのエンジンを止めてください。
- ◇機械の下にもぐったり、下で作業しないでください。
- ◇キャスターなど付いている場合、車止めをして作業してください。

安全銘板の貼り付け位置

KA1-053200-1

PL ラベル (ケイコ・イトウ)



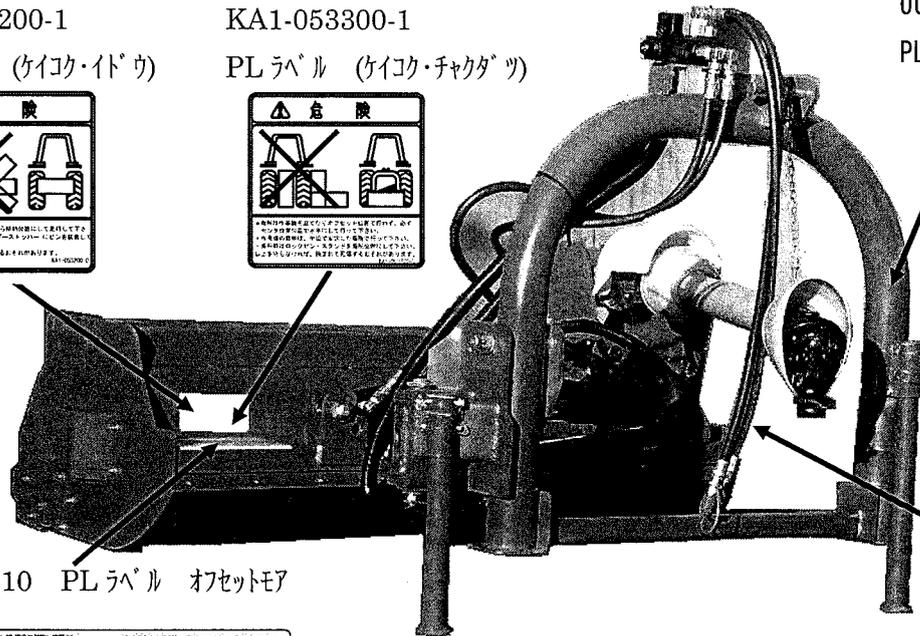
KA1-053300-1

PL ラベル (ケイコ・チャクダツ)



0000-02630

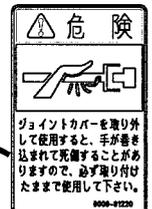
PL ラベル (ケイコ・サギョウ)



0000-04310 PL ラベル オフセットモア



0000-01220 PL ラベル (ケンジ ョイント)

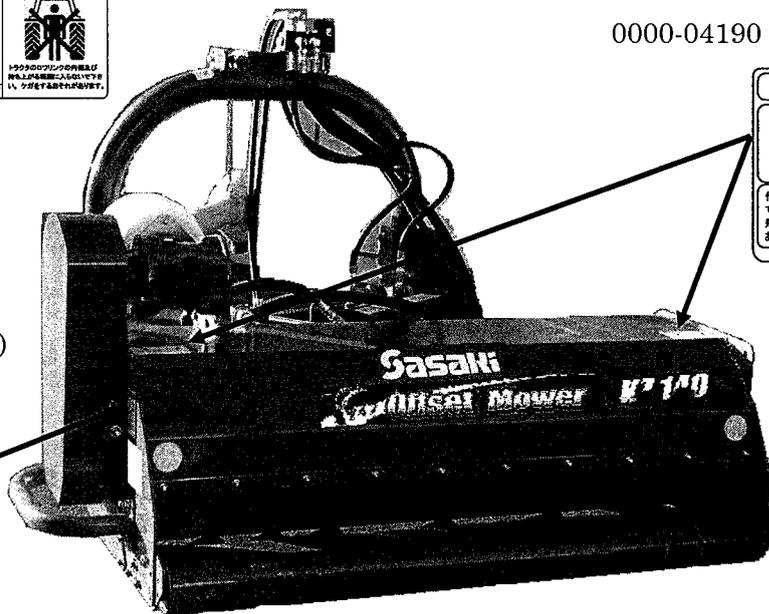


0000-04190 PL ラベル (ヒサン、カイトン)



0000-04180

PL ラベル (プーリ、バルト)



▲ 注意

- 安全銘板は破損したり、はがれた場合は、上記番号・名称にて手配のうえ、貼り直してください。
- 新しい安全銘板を貼る場合は、汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

保証とサービスについて

◎保証書について

『保証書』は、お客様が保証修理を受けられる際、必要となるものです。
お読みになった後は、大切に保管してください。

◎アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点など不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店等にご相談ください。

《ご連絡いただきたい内容》

- ◇ 型式名（機体銘板に明記してあります）
- ◇ シリアル番号（機体銘板に明記してあります）
- ◇ ご使用状況は？
（どのような作業をしていたときに？）
- ◇ どのくらい使用しましたか？
（約何アール又は約何時間使用）
- ◇ 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくおしらせください。

農業機械の種類 オフセットモア

型 式 名 K Z 1 4 1

区 分

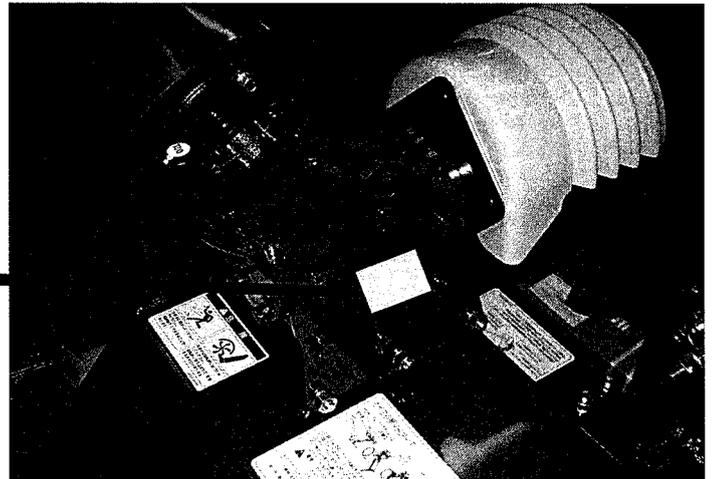
シリアル番号 SS00000001



株式会社

ササキコーポレーション

青森県十和田市里ノ沢1番地259

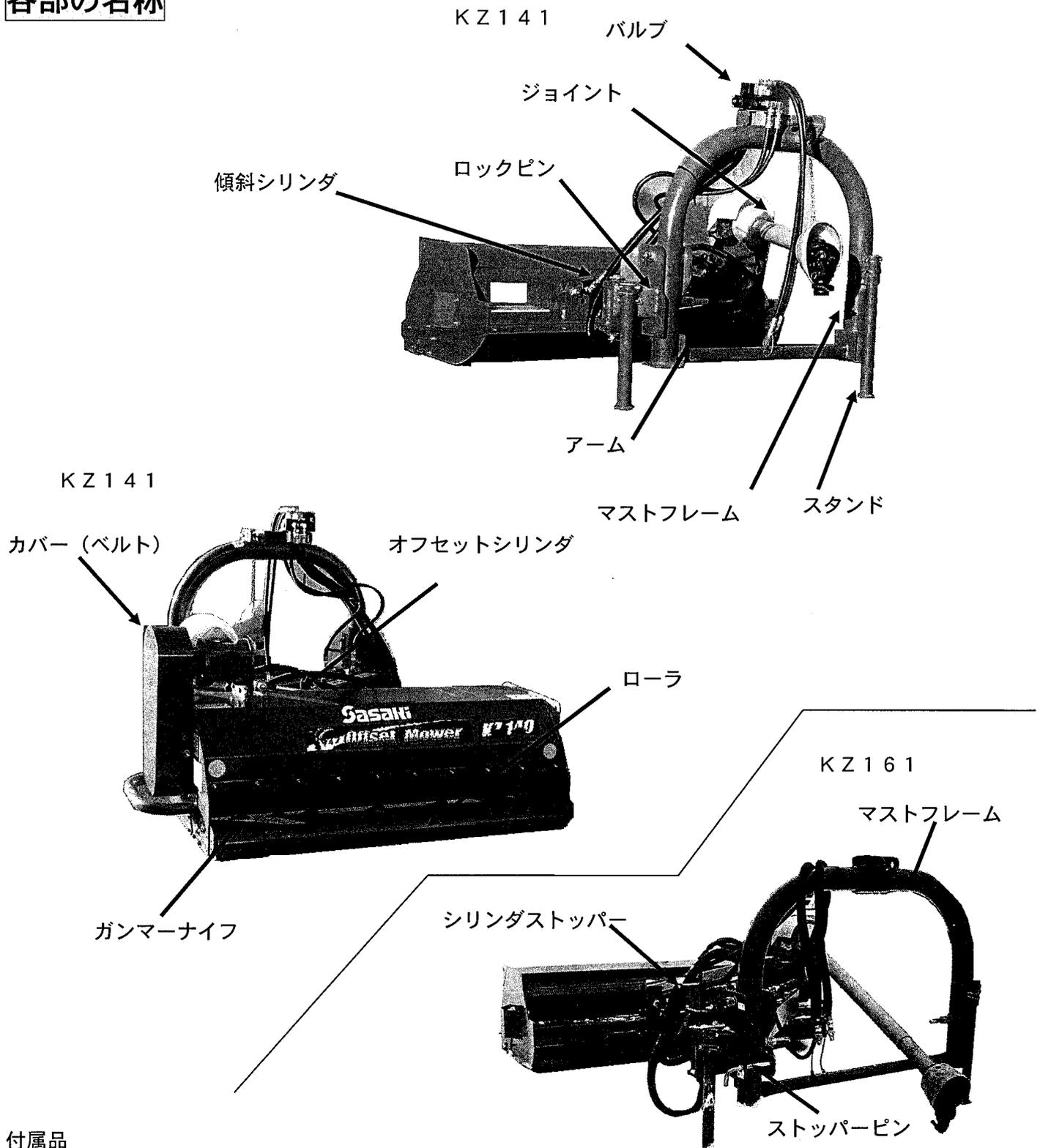


◎補修用部品の供給年限について

この商品の補修用部品の供給年限は、製造打ち切り後9年です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期をご相談させていただく場合もあります。

各部の名称



付属品

名称	規格	個数	備考
ジョイント	#200	1	
メスカブラ	3/8 インチキャップ付き	2	KZ141
メスカブラ	3/8 インチキャップ付き	4	KZ161
ロワリンクカラー	No. 2	2	KZ161
保証書・取扱説明書		1	

装着前の準備

1. 各部のボルト・ナットの緩み、ピン類の脱落がないか、確認してください。
ある場合には、増し締め、組み付けを行ってください。

注意

作業中にボルト、ナット、ピン等が外れますと、作業機の破損ばかりかトラクタの破損、人身事故につながる恐れがあります。

2. 作業機を装着すると機体の長さ・幅が大きくなり、重量バランスが変わります。
確認のうえ、適宜フロントウェイト等を取り付けてください。

警告

- 適応トラクタの範囲内で使用してください。適応範囲以内のトラクタであっても、発進時・登坂時に、トラクタの前輪が浮き上がる場合には、必ずフロントウェイト等を、取り付けてください。
守らないと転倒等の事故で、死傷する恐れがあります。
- 作業機の着脱は、平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。
守らないと作業機が動いて、死傷事故を起こす恐れがあります。
- 作業機の下にもぐったり、足を入れたりしないでください。また、作業機とトラクタの間に、入らないでください。挟まれて死傷する恐れがあります。

3. 本機を装着する際は、トラクタの3点リンクに直接取り付けてください。

危険

- ユニバーサルジョイントを取り付けるときは、必ずエンジンを停止してください。
守らないと巻き込まれて、死傷事故を起こす恐れがあります。

警告

- 2人以上で作業するときは、お互いに合図をし、確認しあって作業してください。
特に、トラクタのエンジンをかけるときや、エンジンが作動している間は、十分に注意してください。
守らないと思わぬ事故に、つながる恐れがあります。

注意

- 装着時は、トラクタのPTO変速を中立にしてください。

◎KZ141 の場合

KZ141 の場合、コントローラにより油圧バルブを切替えてそれぞれのシリンダを動かし作業を行います。

I 接続方法

- 1) 電源ハーネスをトラクタのバッテリーへ接続してください。

一旦バッテリーの-コードを外します。

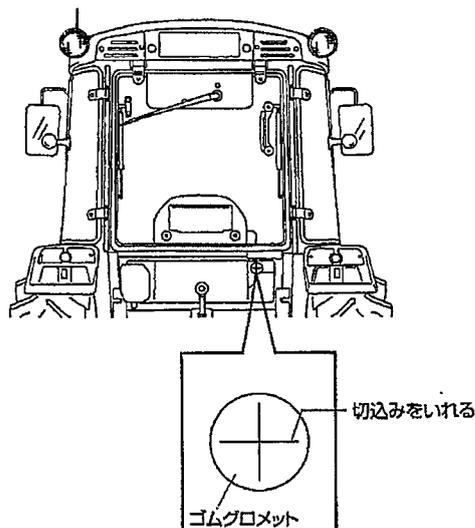
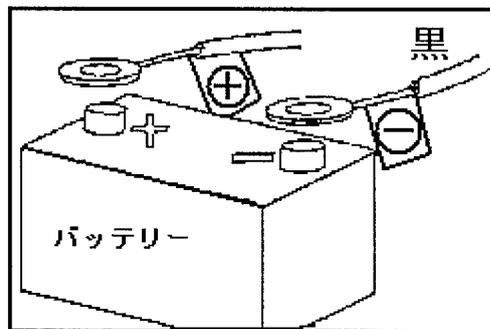
次に、+と表示されているコードをバッテリーの+側へ接続し、最後に-と表示されているコードをバッテリーの-側へトラクタのコードと一緒に接続してください。

バッテリーは、ほぼトラクタの前側にあります。

トラクタに外部コネクタがある場合は外部コネクタを使用してもよいです。

- 2) コントローラを運転席付近へ据え置き、電源コードと接続します。電源コードは、前輪に引っかからないようにバンドでクランプしてください。

- 3) トラクタキャビン内より本機側へコードを引き出す場合は、キャビン後方のゴムグロメットにカッターナイフで切り込みを入れ、コードは必ずゴムグロメットを介し通してください。



⚠ 警告

ゴムグロメットを外してコードを通すと、コードに傷がつき思わぬ事故を起こす恐れがあります。

- 4) 本機バルブへの配線は、トラクタへ本機を装着してから、コネクタを配線してください。配線は、本機を3点リンクで上げ下げしても、余裕があるようにしてください。

重要

本製品の作動電源はバッテリーDC12Vです。その他の電源に接続すると破損しますので、絶対に接続しないでください。

バッテリー電圧が不足していると作動しない場合があります。

バッテリーの+と-を必ず確認してから接続してください。誤って接続すると電子部品の故障の原因になりますので注意してください。

スタンドの取付方法

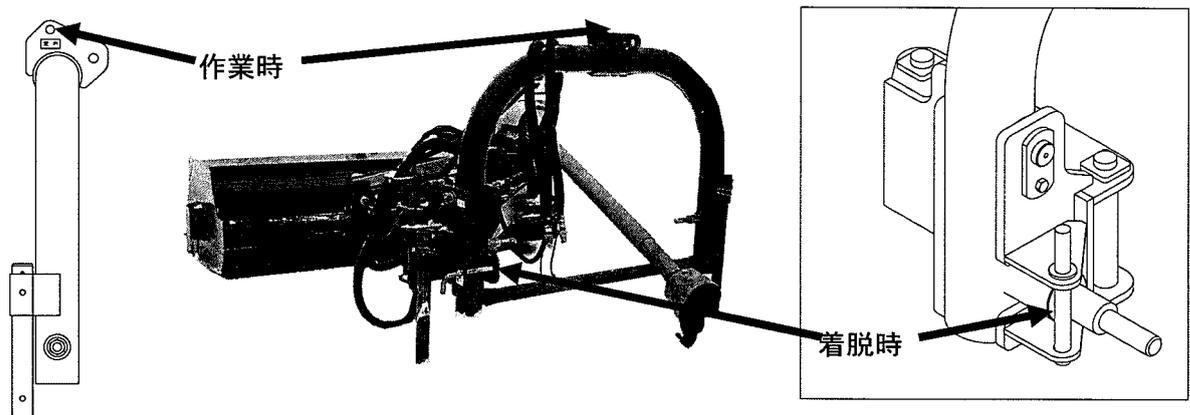
⚠ 警告

- 作業機の着脱は、平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。守らないと作業機が動いて、死傷事故を起こす恐れがあります。
- 作業機の下にもぐったり、足を入れたりしないでください。また、作業機とトラクタの間に、入らないでください。挟まれて死傷する恐れがあります。
- 組立作業する時は、平坦で固い場所でエンジンを停止してから行ってください。
- 2人で作業をする時は、お互いに合図しあって、注意して作業してください。

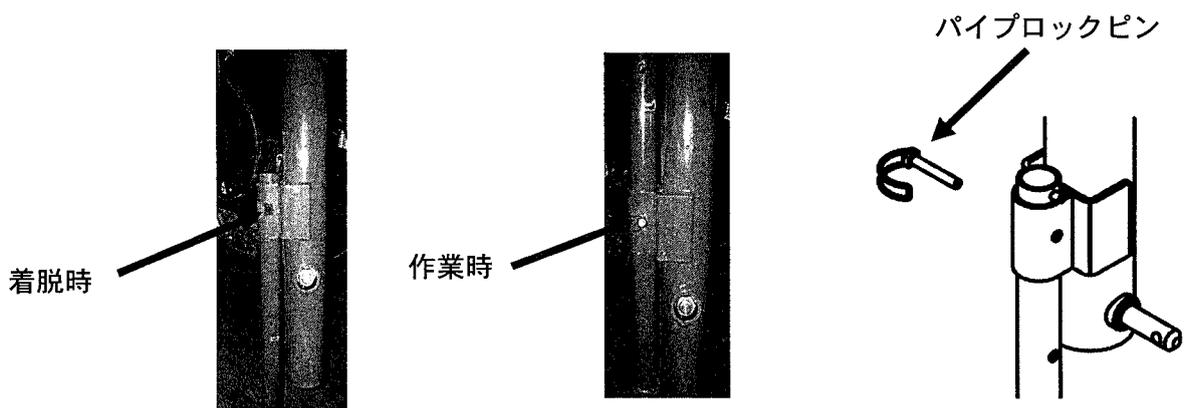
◎ロックピンが必ず着脱位置になっているか確認して下さい。

重要

作業時は作業位置・着脱時は、必ず着脱位置にロックピンを差し込み、マストフレームを固定して下さい。



着脱時はスタンドを下げ、1番上の穴へパイプロックピンを固定します。
作業時はスタンドを上げ、下の穴へパイプロックピンを固定します。



⚠ 注意

- スタンドを取り付ける時は、手を挟まないように注意してください。
- 必ず作業時は下の穴へパイプロックピンを入れて、落下しないようにしてください。

トラクタへの着脱方法

1 装着方法（作業前には、必ずエンジンを停止してください）

⚠ 警告

- 装着は、作業機が傾斜した状態・オフセット位置では行わず、必ず格納位置で水平にして行ってください。
- 装着作業時は、平坦で固い場所で行ってください。2人で作業をする時は、お互いに合図を合せて、注意して作業してください。
- 作業中は、作業機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。
- ご使用のトラクタに応じて、トラクタメーカー純正のバランスウェイトを取り付け、バランス調整をしてください。

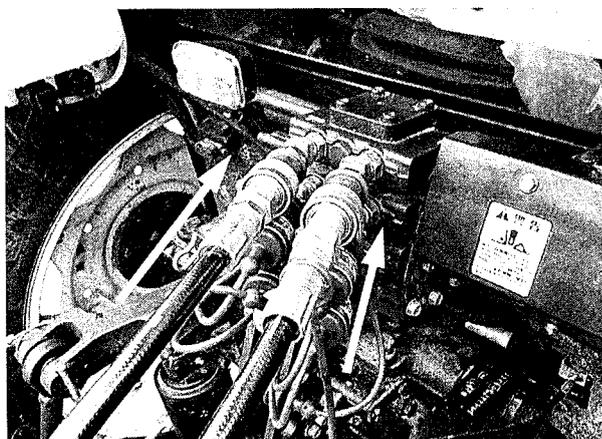
1. トラクタの3点リンクの取り付け穴を、
 - ・リフトロッド穴位置：一番下
 - ・ロワリンク穴位置：一番前
 - ・トップリンク穴位置：一番上に変更してください。

重要

穴位置を変更しない場合、作業機が上がりすぎてトラクタを破損する恐れがあります。

2. 周りに人や動物がいないことを確認してから、エンジンをかけます。
3点リンクを油圧レバーで下げ、本機のマストフレームに向かってゆっくり後退させてください。
3. トラクタの3点リンクに、左ロワリンク、右ロワリンク、トップリンクの順に取り付けてください。
4. トラクタのエンジンを停止しシリンダの油圧ホースカップラをトラクタ外部油圧取り出しに接続してください。

参考 K Z 1 4 1 の場合はバルブから2本、K Z 1 6 1 の場合は各シリンダからの4本を接続して下さい。K Z 1 6 1 の場合、外部油圧取出しのINとOUTそれぞれ間違わない様に接続して下さい。

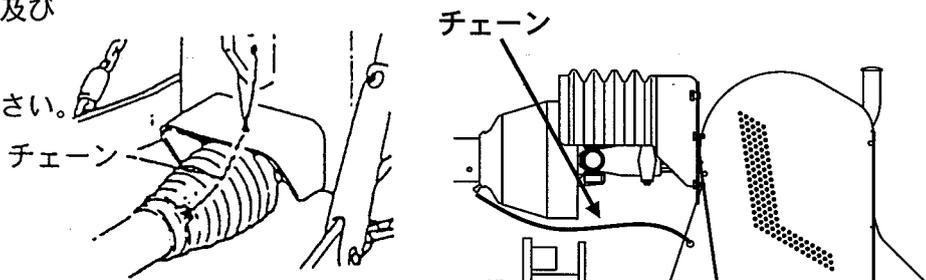


5. ユニバーサルジョイントを取り付けてください。

⚠ 危険

- ユニバーサルジョイントを取り付けるときは、必ずPTOクラッチを切り、エンジンを停止してください。
守らないと巻き込まれて、死傷事故を起こす恐れがあります。

6. ユニバーサルジョイントに付属しているチェーンをトラクタ及び作業機に取り付けて、カバーの回転防止をしてください。



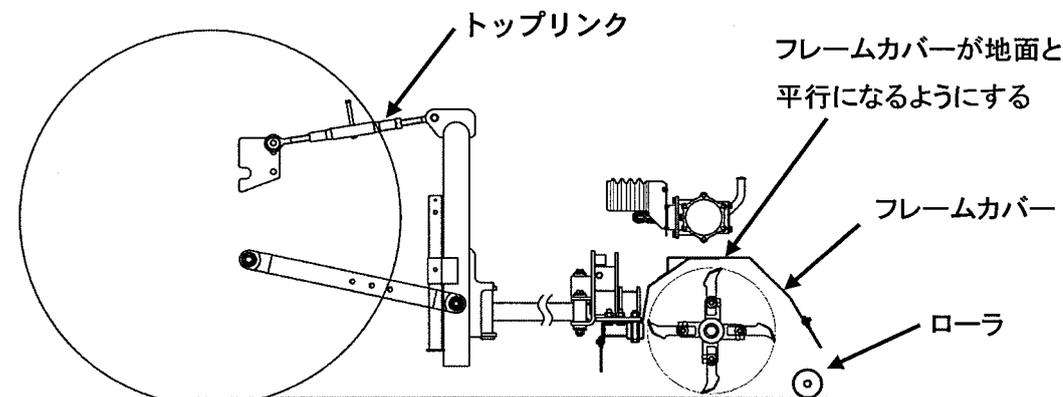
重要

トラクタによってユニバーサルジョイントの長さが合わない場合があります。その時には次項の「ユニバーサルジョイントの切断方法」(18ページ)をお読みください。

7. トラクタのエンジンをかけ3点リンクをゆっくりと上げ、スタンドを作業位置にして下さい。

スタンドの取付方法 (13ページ)

8. ローラが接地した状態で、フレームカバーの上面が地面と平行になるようにトップリンク長さを調節して下さい。(取り付け時と同じ状態です)

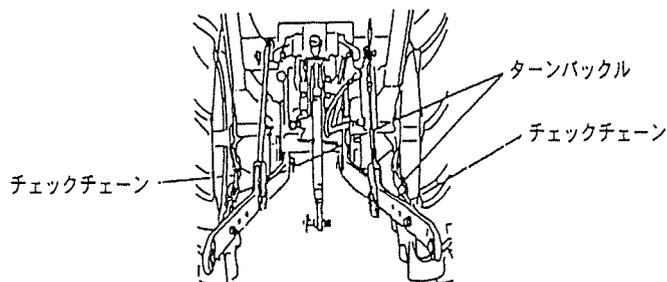


トップリンクを縮めると前側に傾き、伸ばすと後側に傾きます

⚠ 注意

- 長さ調節が終わったら、必ずトップリンクのロックナットで、ロックしてください。
守らないと、ネジが外れて事故を起こす恐れがあります。

9. 本機を少し持ち上げ、トップリンクが、トラクタの中心線上にあるようにチェックチェーンを、左右均等に張ってください。その後左右のチェックチェーンの、ターンバックルを0.5~1回転くらい逆に戻し、ロックしてください。



⚠ 注意

- 持ち上げ前に、トラクタの取扱説明書「3点リンクおよび油圧関係」をよく読んでください。守らないと、機械の損傷やケガの原因になるおそれがあります。

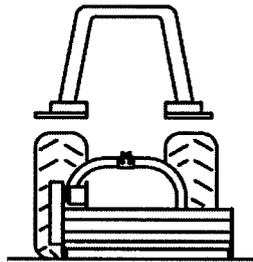
10. 3点リンクをゆっくりと上げながら、作業機とトラクタがぶつからないか確認してください。ぶつかる場合は、作業機とトラクタの間隔を100mm以上離して上げ規制をしてください。

II 取り外し方（作業前には、必ずエンジンを停止してください）

1. 平坦で固い場所を選んでください。その際周りに人や動物・障害物がないことを確認してください。
2. ロックピンを着脱位置に差し込みます。作業位置になっている場合、必ず着脱位置に入れて下さい。

スタンドの取付方法（13ページ）

3. 本機をオフセットシリンダにて格納位置にし、傾斜シリンダにて水平位置にして下さい。

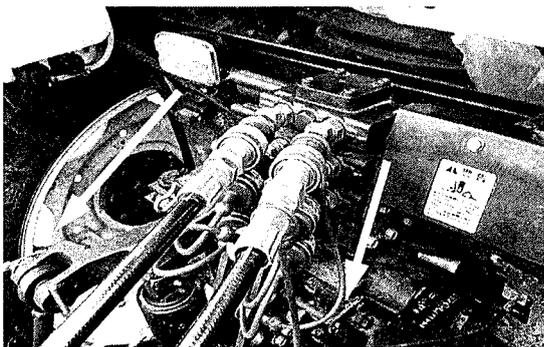


格納位置

4. スタンドが着脱位置（穴が上側）になっているか確認して下さい。

スタンドの取付方法（13ページ）

5. 3点リンクをスタンドが地面に着くまでゆっくりと下げて下さい。スタンド、ローラがすべて接地していることを確認して下さい。
6. トラクタのエンジンを停止しユニバーサルジョイントを外して下さい。
7. トラクタ外部油圧レバーを2,3回動かし油圧シリンダ内の残圧を抜き油圧カプラを外して下さい。



8. トップリンクを外し、左右ロワリンクを外して下さい。

危険

- ユニバーサルジョイントを取り外しするときは、必ずPTOクラッチを切り、エンジンを停止してください。
- 守らないと巻き込まれて、死傷事故を起こす恐れがあります。
- 機械の下に潜り込んでの作業は行わないでください。死傷事故を起こす恐れがあります。
- 着脱は作業機を立てたり、オフセット位置で行わず、必ず格納位置で水平にして行って下さい。

警告

- 脱着作業をする時は、平坦で固い場所でおこなってください。2人で作業をする時は、お互いに合図しあって、注意して作業してください。

注意

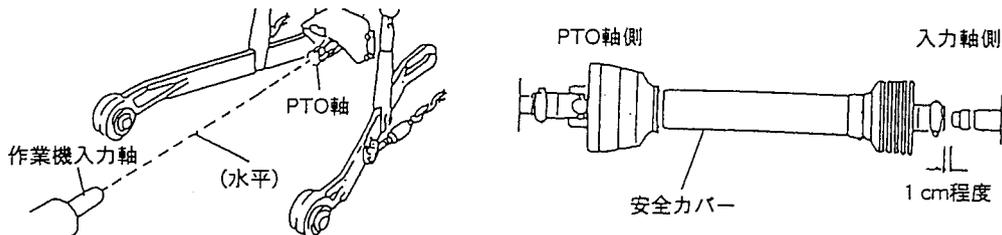
- 周りに人や動物・障害物がないことを確認してから作業してください。

ユニバーサルジョイントの切断方法

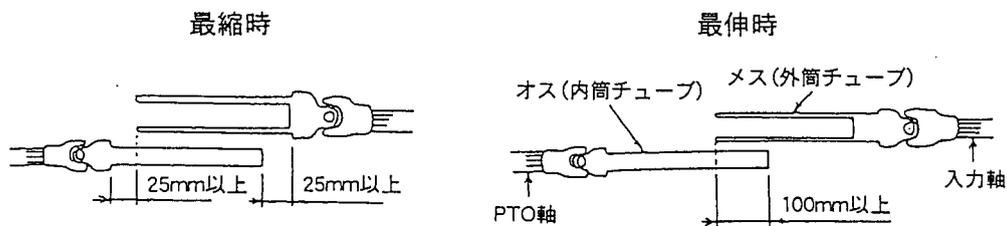
ユニバーサルジョイント（以下ジョイント）の長さは、必ず適正長さの範囲内で使用してください。短すぎるとジョイントが抜けて思わぬ事故につながり、長すぎると機械を破損してしまいます。短い場合は交換し、長い場合は切断し使用してください。

◎適正長さの確認

トラクタPTO軸と作業機の入力軸が水平で一直線上にある時が、ジョイントが一番短くなる時です。この時に1cm程度スキマがあればそのまま使用できます。



また、ジョイントのオス・メスを外して、それぞれPTO軸と入力軸に取り付け、水平で一直線上にあたる時（最縮時）に、下図のスキマが25mm以上あり、作業機を上下させてジョイントが一番伸びた時（最伸時）に、オス・メスの重なりが100mm以上あると、適正長さの範囲です。



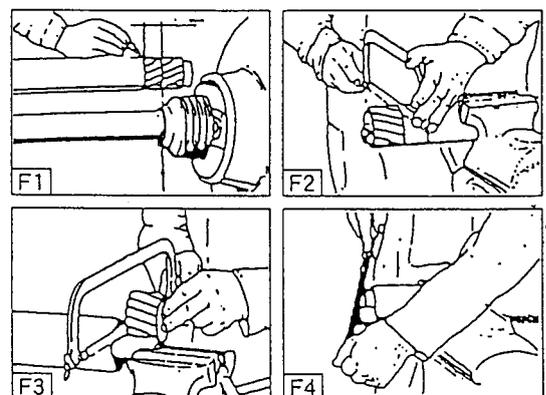
◎切断方法

F1. ジョイントのオス・メスを外して、トラクタと作業機の最短の作業位置に合わせ、相手側の安全カバーの筒の端から、25mmスキマがあく位置に、オス・メスの安全カバーへそれぞれ、マークをつけてください。

F2. オス・メスの安全カバーに、マークをした長さだけ、安全カバーを切断してください。

F3. オス・メスの内外筒チューブを、安全カバーを切断した部分と、同じ長さだけ切断してください。

F4. 切断後は切り口にヤスリをかけ、バリを除きスムーズにスライドできるようにしてください。

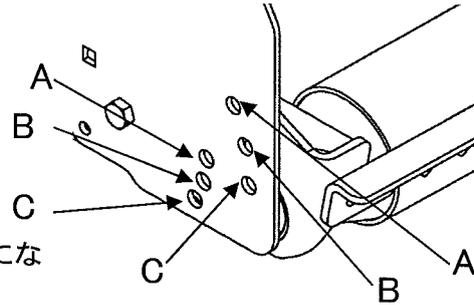


刈り高さの調整方法

刈り高さは、ローラ取り付けブラケットの左右両側のボルト4本を緩めることで、3段階で高さを変えることができます。

- ① トラクタに装着してから
- ② PTOクラッチを切にして
- ③ トラクタのポジションレバーを操作して、オフセットモアを上げてください。
- ④ ボルトを外してください。ローラの重量は重いので気を付けて行ってください
- ⑤ ボルトをA～C穴に入れしっかりと締めてください

刈り高さ A穴 0 cm
B穴 4 cm
C穴 7 cm



※ 刈り高さは、フレームカバー面が地面と平行になった時のものを表しています。

調整方法は **トラクタへの着脱方法** (14 ページ) を参照してください

- ⑥ トラクタのポジションレバーを操作してオフセットモアを下げてください。

作業のしかた (21 ページ) をよく読んでから作業してください。

⚠ 注意

- 危険ですので刈り高さの調整は、必ず作業機を格納位置・水平状態にして行ってください。

作業前の点検

作業機の性能を十分に引き出し、長くご使用いただくために、必ず作業前の点検を行ってください。

⚠ 危険

- 点検作業は、平坦で十分な広さがある、地盤のしっかりした場所で行ってください。
- 点検・調整作業をするときは、必ずエンジンを停止してください。
守らないと、傷害事故・機械の損傷を引き起こすおそれがあります。

- ① ミッションケースのオイル量・オイル漏れないか確認
- ② ベルトの張り具合の確認
調整方法は、**保守管理について** (25 ページ) を参照してください。
- ③ ジョイントのグリース注入 (26 ページ参照)
- ④ 各部の損傷、ボルト・ナットの緩み点検
- ⑤ ナイフの取付ボルトの緩み、ナイフの減り確認

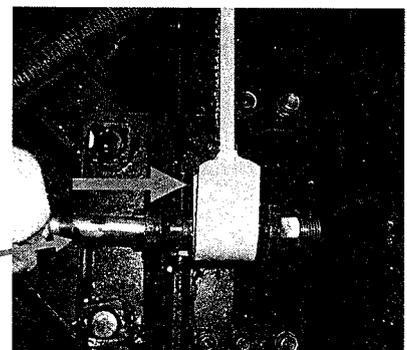
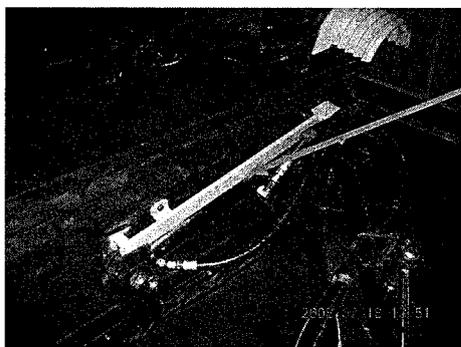
運転及び刈り取り作業について

◎移動と圃場への出入りのしかた

1. 圃場へ移動するときは、トラクタのポジションレバーでオフセットモアを上げてください。
2. トラクタの油圧を確実にロックし、チェックチェーンがしっかり張って横振れしないことを確認してから走行してください。

⚠ 注意

KZ161のみ、移動中刈り取り部が落ちてきて危険ですので、ピンをシリンダーストップに差し込み固定させて下さい。



重要

シリンダーストップを固定している時は傾斜シリンダを操作しないで下さい。機械を破損させるおそれがあります。

⚠ 警告

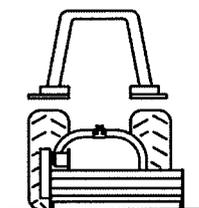
- 運転者以外の人や荷物をトラクタやオフセットモアに乗せてトラクタを運転しないでください。守らないと、傷害事故をおこすおそれがあります。
- 移動時は作業機をオフセット位置から格納位置にして水平位置にして走行してください。
- 急発進・急加速・高速走行・急制動・急旋回はしないでください。

3. 圃場への出入りは、直角に前進で安全な遅い速度でおこなってください。

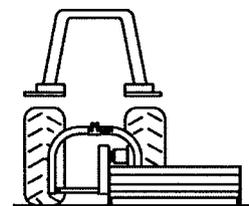
高低差の大きい急斜面の登り下りや、溝越え、あぜ越えが必要な場合は、十分な強度のあるあゆみ板（傾斜が15°以下になる長さ）を使用し、確実に固定してから低速でおこなってください。

4. 坂の登りは、トラクタの前部が浮き上がり危険です。フロントウェイトを装着し、オフセットモアはできるだけ下げて登ってください。

格納位置



オフセット位置



⚠ 警告

移動走行時は必ず格納位置にし必ずPTOを切って走行して下さい。
守らないと、重大な事故をおこすおそれがあります。

◎作業のしかた

作業前に圃場の状況を必ず確認してください。特に、草丈が高い場合は、地表の凸凹や段差・異物がないか、危険なところがないかなど安全に作業できることを確認してから作業してください。

また、オフセットモアのロータ軸は、高速で回転するため、石など硬いものは前後左右に10メートル以上飛散する場合がありますので、周囲に人や動物がないことを確認してから作業してください。

⚠ 警告

作業前及び作業中は、必ず機械の周辺に人がいないことを確認し作業してください。
守らないと、飛散物をぶつけ重大な事故をおこす恐れがあります。

⚠ 注意

つる状の草やビニールシート、紐など長いものは、ローター軸に巻きつきやすいので、作業前に作業ほ場から取り除いてください。
守らないと、巻きつきを取り除く際に怪我をするおそれがあります。

2. トラクタの作業速度は、通常 2～4 km/hの速度で作業してください。
・スタンドは、作業位置（下穴）にして作業してください。
3. PTO回転数は、通常1速で使用しますが、圃場条件、ナイフの磨耗により切れにくくなってきた場合はPTO2速を使用してください。

⚠ 警告

PTO3速以上での作業は絶対におこなわないでください。
守らないと、機械の破損による重大な事故をおこすおそれがあります。

4. 圃場条件によりトラクタのエンジン馬力が不足気味のときは、作業速度を1段から2段下げるか、PTO2速ときは1速に下げるなどの操作をして、トラクタや作業機に負担をかけない作業をしてください。
5. 草刈り作業は、場所に合わせてオフセットシリンダを調整し、作業機のオフセット位置を変えて作業してください。
6. 作業時、トラクタのエンジンの回転数が急に下がったときなどは、異常が発生していることがありますので、ただちにPTOクラッチを切り、エンジンを止めます。それから、オフセットモアを点検し、原因を取り除いてください（トラブルの原因と処置方法をお読みください）。

⚠ 危険

- 回転部分には絶対に手や足を入れないでください。
- 回転部分に物が巻きついたときは、PTOの回転を止め、必ずエンジンを停止させてから取り除いてください。

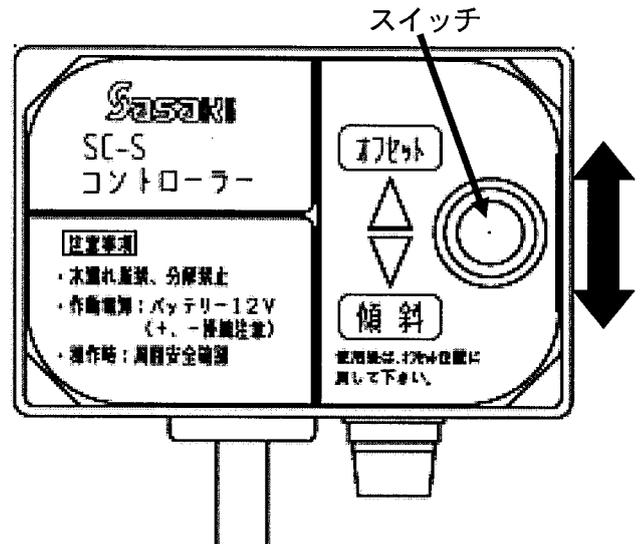
⚠ 警告

- 圃場内の低速移動でも格納位置・水平状態にして移動してください。
守らないと、重大な事故をおこすおそれがあります。

◎KZ141 の場合

KZ141 の場合コントローラによって油圧を切替えてシリンダを動かします。

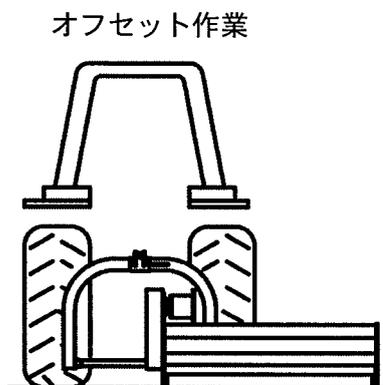
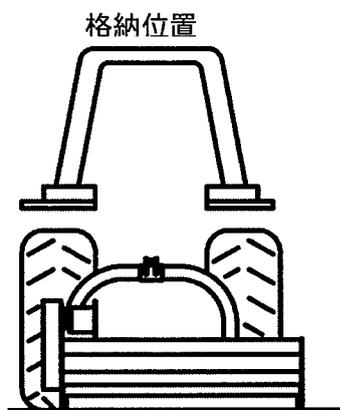
1. オフセットシリンダを動かしたい場合は、スイッチをオフセット側に入れトラクタの油圧レバーを操作してください。
2. 傾斜シリンダを動かしたい場合は、スイッチを傾斜側に入れトラクタの油圧レバーを操作して下さい。



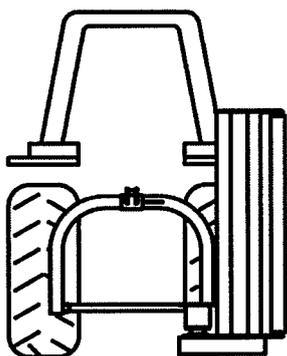
重要

作業終了後は、スイッチをオフセット側に入れて保管してください。

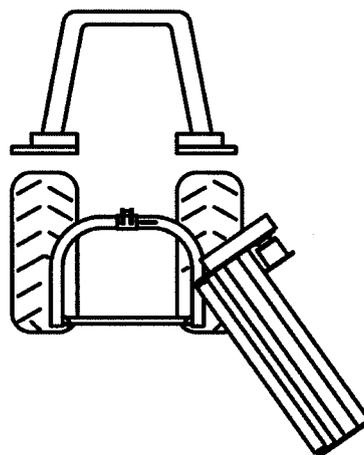
- ◎本機は圃場に合わせて本機位置を変えて作業することができます。
 状況に応じてシリンダを動かし作業を行って下さい。
 斜面角度は上 90度 ~ 下 55度 まで対応できます



上 90度位置



下 55度位置



⚠ 危険

安全のため必ずシートベルトを締めて作業を行って下さい。

⚠ 警告

- 周りに人や動物、障害物が無いことを確認してから作業して下さい。
- 斜面作業をする場合、左右バランスが変わります。
必ずトラクタは平坦な所を走るようにして下さい。
- ● 法面作業をする場合、低速で余裕をもって作業してください。
□ 守らないと、重要な事故をおこし死傷するおそれがあります。
- ● 作業するとき以外は、必ずPTO回転を停止してください。

◎作業上の注意

1. P T Oクラッチの接続は、エンジン回転数を必ず下げた状態で接続し、徐々に回転数を上げてください。
2. 異音が発生した場合は、直ちにP T Oクラッチを切り、エンジンを停止してから点検・処置してください。**トラブルの原因と処置方法**（29ページ）をお読みください。
3. 逆転P T Oは、使用できません。
使用しても、ワンウェイクラッチ（一方向回転）により回転がロータ軸に伝達しません。
4. 運転者が運転席を離れる時は、必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。
5. 作業中、補助作業者はできるだけ機械から20m以上離れるように指示して、作業してください。
（機械周囲に絶対人を近づけないこと、人が近いと思ったらただちに作業を中止すること）

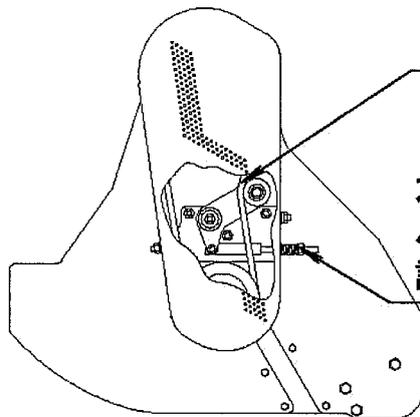
警告

- 本機を装着すると、前後バランスが変わります。
発進時・登坂時トラクタの前輪が浮く場合は、フロントウェイトを取り付けてください。
- 作業中は作業機に、人を近づけないでください。
特に、子供に注意してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- エンジンを停止するとき、必ず作業機を下ろしてから停止してください。
エンジン始動時に、作業機が急に下がることもあるので危険です。
- 2人以上で作業をする場合は、お互いに合図をし確認し合って安全に作業してください。
特にトラクタのエンジンをかける時や、エンジンが作動している間は、十分注意してください。
- からみつけた草等を取る場合は、トラクタのエンジンを停止してください。
エンジンをかけたままですと、巻き込まれてケガをします。
- 点検整備をする場合は、平坦な場所でエンジンを停止して行ってください。
トラクタが動きだして、ケガをする恐れがあります。
- 格納は平坦な場所に、保管してください。
- 適応トラクタの範囲内で、使用してください。
適応範囲内のトラクタでも、発進時・登坂時にトラクタの前輪が浮き上がる場合は、フロントウェイトを装着してください。
思わぬ事故を、引き起こす恐れがあります。
- 圃場から出るときに、前輪が浮き上がる場合は、転倒する恐れがあるので、無理をせずに後退で出てください。
その後、フロントウェイトを、装着してください。

保守管理について

◎Vベルトの張り調整

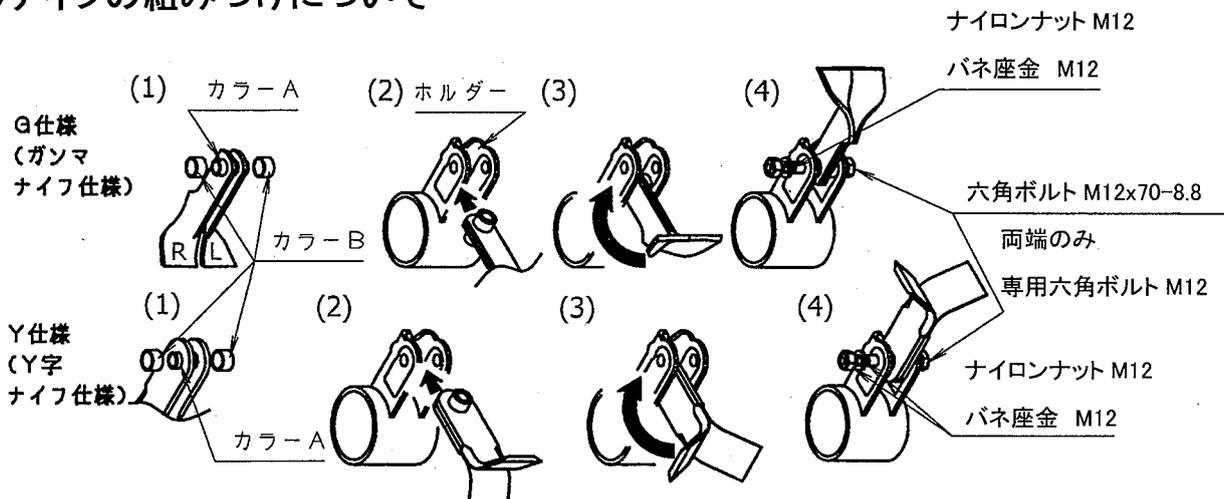
品番 K41-112800-0
 名称 Vベルト(W800)SB-53



六角ボルトを右回りに締め込んで、
 バネ高さを30~31mmに
 調整して下さい。

- Vベルトの交換時は、ササキ指定Vベルトを使用してください。
 (指定外Vベルトを使用した場合、刈り取り作業に支障をきたします)
- 新品のVベルトは初期伸びがありますので、上図要領で初回2時間までは30分毎に、
 それ以降は作業前後に調整してください。

◎ナイフの組みつけについて



- 1) 図のように、ナイフR&LをカラーAに組み込みし、つぎに両側にカラーBを組み込んでください。
- 2) 図のような手順でホルダー内へ入れてください。
- 3) ナイフ assy をホルダー下部のふくらみ部分で90° 回転させて、ボルト穴位置に合わせてください。
- 4) 六角ボルトを穴に通してナイフ assy を組立し、バネ座金、ナイロンナットでしっかりと締めこんで固定してください。ただし、ロータ軸両端のホルダーに取り付けるボルトは専用のボルトになっておりますのでご注意ください。

☆ G仕様(ガンマナイフ)の場合は、ナイフの向きに注意して組立してください。

⚠ 警告

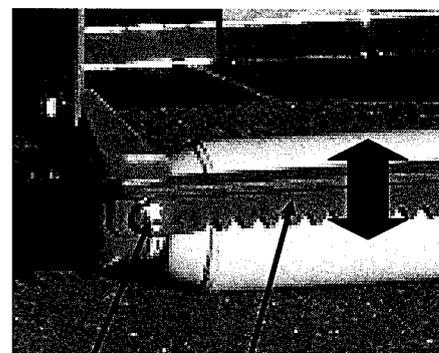
- ナイフ交換時は、必ずPTOを切って、トラクタのエンジンを止めてください。
- 3点リンクが下がらないように、トラクタの油圧調整バルブを閉じて完全にロックしてください。また、作業機と地面との間には台を置くなどの落下防止対策をしてください。
- ナイフ組立後、必ずナイロンナットの締め忘れがないか確認してください。

守らないと、
回転体に巻き込まれ、傷害事故を引き起こします。
機械にはさまれ、傷害事故を引き起こします。
回転時ナイフが飛び出してケガをするおそれがあります。

◎スグレーバ(スクレーパー)の調整

スグレーバの先端が摩耗し、ローラとの隙間が大きくなりましたら調整が必要です。

スグレーバ両端の取付ボルトを緩め、スグレーバを上下にスライドさせて、ローラとの隙間が約3mm程度になるよう調整してください。



◎作業シーズン中

作業終了後、水洗いをして汚れを落とし、ボルト・ナット・ピン類の緩みや脱落がないか確認をして、必要であれば補充し、給油・注油してください。

ただし、コントローラは電子部品を使用していますので水濡れ厳禁です。
雨ざらしや洗浄機、水道ホース等での水洗いはしないで下さい。

◎作業シーズン終了後

水洗い・乾燥・補修塗装・給油・塗油等を行い、破損部品・脱落部品がある場合は、早めに部品交換・修理を行ってください。格納は、湿気・埃がなく平坦で安全な場所に安定させて保管してください。

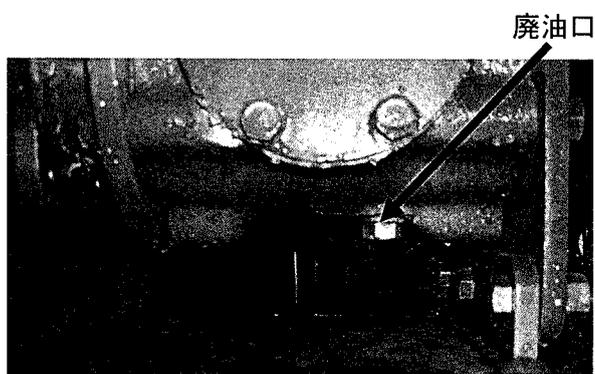
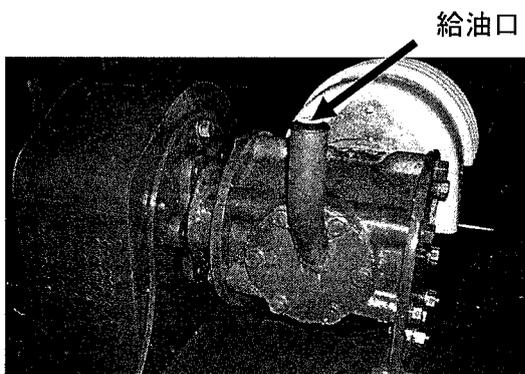
◎オイル交換及びグリース注油について

1 給油・廃油場所はミッションケースです。

ミッションケース 0.5L

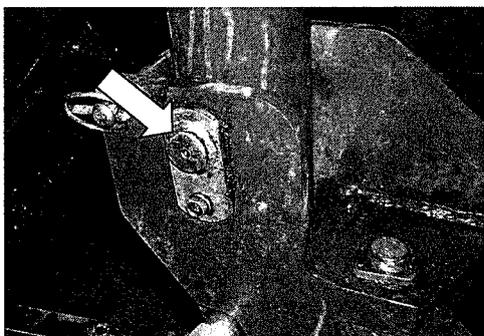
注1 ギヤオイルは#80か#90をご使用ください

注2 1回目の給油は、使用后20時間。2回目以降は50時間を目安に交換して下さい

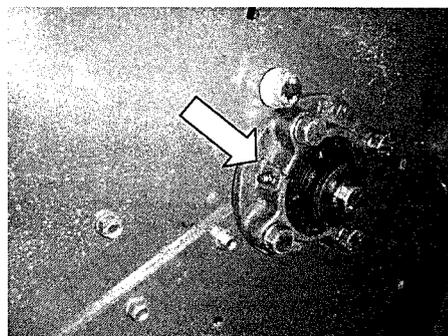


2 給油箇所は マストフレームシテン・ベアリングユニット部・・シリンダーシテン・シテンフレーム・ワンウェイホルダー部・各部アームシテンです。50時間毎に給油をしてください。

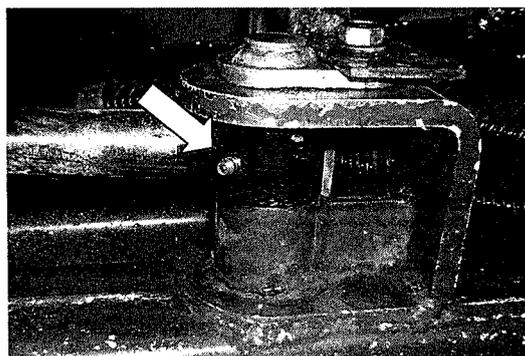
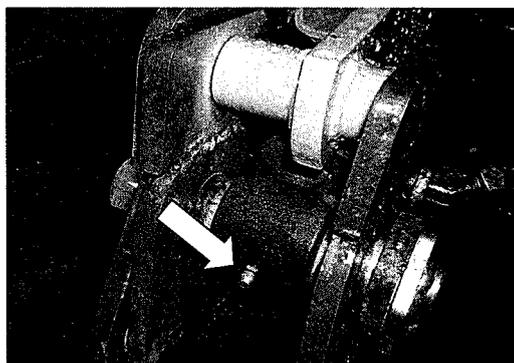
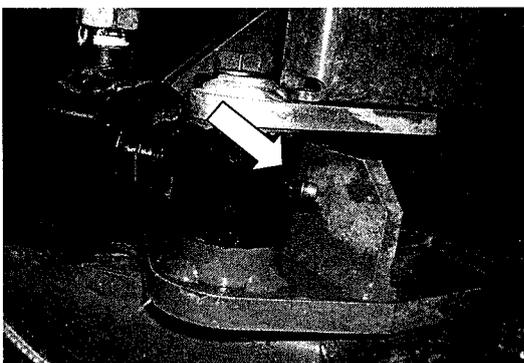
マストフレーム支点回り



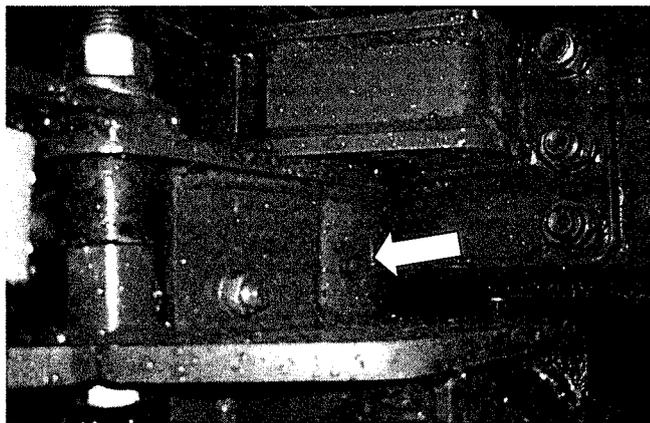
ベアリングユニット



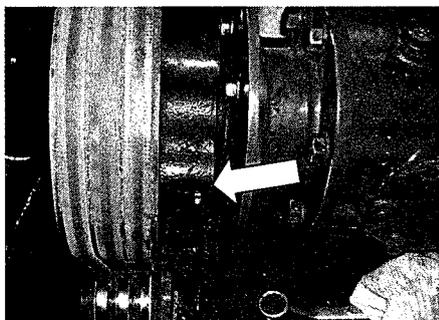
シリンダー支点回り



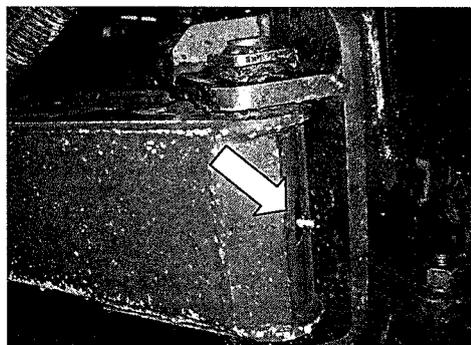
シテンフレーム



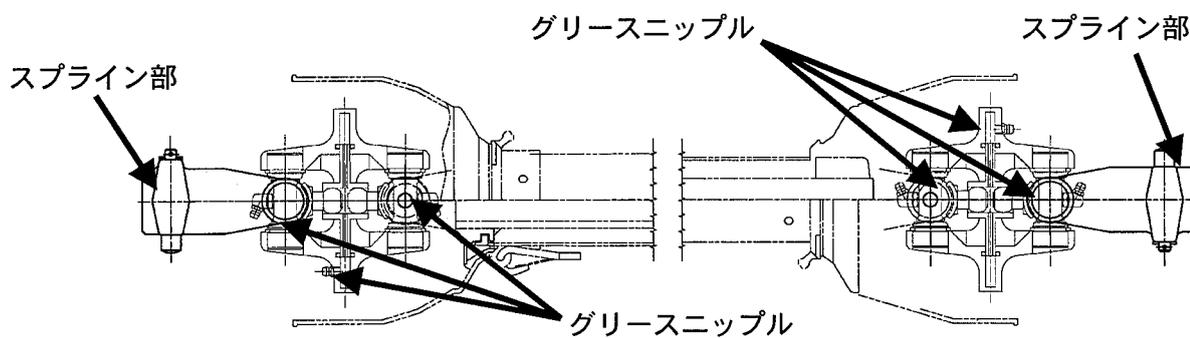
ワンウェイホルダー



アームシテン



☆ユニバーサルジョイント



◎廃油処理について

オイル交換で出た廃油は、河川や下水道、溝、空地などには、絶対に捨てないでください。
環境汚染につながります。

廃油の処分方法については、販売店にご相談ください。

トラブルの原因と処置方法

	現象	原因	処置	ユーザー	販売店
ジョイント	異音発生	ヨーク部のグリース不足	グリース給油	○	○
ミッションケース	オイル漏れ	オイルシールの損傷	オイルシール交換	×	○
		廃油口のシールの劣化	シール座金の交換	○	○
		締付けボルトの緩み	ボルトの増締め	○	○
	異常発熱	オイル量不足	オイル補給	○	○
		オイルシールの損傷によるオイル漏れ	オイルシール交換	×	○
Vプーリ	ロータの空回り	ワンウェイ部のピンが動かない	ホルダーにグリースアップしスムーズに動くようにする	○	○
		Vベルトが切断、磨耗	Vベルト交換	○	○
		テンションがゆるい	テンションバネを締めこむ	○	○
		Vベルトの伸びすぎ	Vベルト交換	○	○
ロータ	異音がする	ベアリングユニットのグリース切れ	ベアリングユニットにグリースアップする	○	○
	刈取不良	ナイフの磨耗	ナイフの交換	○	○
		ナイフが回動しない	異物などを除去する	○	○
		ガンマナイフが逆向き	ガンマナイフの向きを正しく組み付ける	○	○
コントローラ	電源が入らない	配線抜け	再度コネクタを接続しなおす	○	○
		ヒューズ切れ	ヒューズの交換	○	○
		バッテリーの電圧不足	バッテリーの充電または交換	○	○
	コントローラ	コントローラ異常	コントローラの交換	○	○

主要諸元

ガンマナイフ仕様

型式	装着の種類	作業幅 (mm)	適応 トラクタ KW(ps)	作業 能率 (km/h)	機体寸法(mm)			爪軸 回転数 (rpm)	重量 (kg)
					全長	全幅	全高		
KZ143G	日農工 標準 3P リンク I形	1400	29.4~44.1 (40~60)	14~29	1335	1620	1035	PTO 1速 1300	335
KZ163G	日農工 標準 3P リンク I-II形	1600	44.1~66.2 (60~90)	13~26	1830	1830		PTO 2速 1900	435

Y字ナイフ仕様

型式	装着の種類	作業幅 (mm)	適応 トラクタ KW(ps)	作業 能率 (km/h)	機体寸法(mm)			爪軸 回転数 (rpm)	重量 (kg)
					全長	全幅	全高		
KZ143Y	日農工 標準 3P リンク I形	1400	29.4~44.1 (40~60)	14~29	1335	1620	1035	PTO 1速 1300	335
KZ163Y	日農工 標準 3P リンク I-II形	1600	44.1~66.2 (60~90)	13~26	1830	1830		PTO 2速 1900	435

MEMO

MEMO

購入日

年

月

日

型式

シリアル番号



株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本社・工場 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111	FAX 0176-22-8607
営業部 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170	FAX 0176-25-3127
部品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170	FAX 0176-25-3171
北東北営業所 / 〒034-0001	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354	FAX 0176-23-9655
仙台営業所 / 〒989-1631	宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780	FAX 0224-58-7782
関東営業所 / 〒329-0201	栃木県小山市栗宮1241-9	TEL 0285-45-8911	FAX 0285-45-8910
長岡営業所 / 〒954-0124	新潟県長岡市中之島字1982-13	TEL 0258-66-0888	FAX 0258-66-0988
岡山営業所 / 〒702-8002	岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508	FAX 086-274-9510

1106-KC49111000